

## 平成17年度「世界エイズデー」キャンペーンの実施について

今年度も、12月1日の「世界エイズデー」に向けて、以下のとおり、各種イベントを実施いたしますので、お知らせいたします。

### 1. レッドリボンキャンペーン2005

～「エイズ…あなたは『関係ない』と思っていないですか?」～

(日時)

平成17年11月26日(土) 13:00-18:30

(場所)

六本木ヒルズアリーナほか

(主な内容)

・トークショー

佐藤江梨子、パンチ佐藤(タレント)などによるトークショー

・ダンス・ライブパフォーマンス

・HIV検査(先着60名程度)

・コンドームオブジェ ほか

※【別添1】参照

### 2. その他関連イベント等

※【別添2】参照

(参考) 平成17年度「世界エイズデー」実施要綱

※【別添3】参照



## レッドリボンキャンペーン 2005

「エイズ・・・あなたは『関係ない』と思いませんか？」

トークショー&ライブ、エイズ無料検査も実施

コンドームオブジェが六本木に登場！

ゲスト：佐藤江梨子、パンチ佐藤

●11月26日(土) ●港区・六本木ヒルズアリーナ

◆主催：厚生労働省、(財)エイズ予防財団

## 記者会見とイベント取材のご案内

過日、ご案内の通り、12月1日の「世界エイズデー」に向けて11月26日(土)13:00より、六本木ヒルズアリーナにてレッドリボンキャンペーン2005「エイズ・・・あなたは『関係ない』と思いませんか？」を開催します。

タレントの佐藤江梨子、パンチ佐藤のお二人や専門医の先生、HIV感染者・エイズ患者のネットワーク組織の代表者によるトークショー(14:00)をはじめ、エイズ無料検査も実施。コンドームオブジェも六本木ヒルズアリーナに登場します。

また、トークショー終了後、15:00より記者会見を開催いたしますので、併せてご取材くださいますようお願い申し上げます。

現在、日本ではHIV感染者・エイズ患者が増え続けています。昨年1年間に国内で新たに報告されたHIV感染者・エイズ患者数は、合計で初めて1,000件を超え、2005年4月3日現在において、累計感染者、累計患者は合計1万人を超えました。

私たちの生活の身近な問題として迫ってきている「エイズ」。エイズの問題に感心を持っていただき、自分自身、そして大切なパートナーを守るためにHIVとエイズの正しい知識を持って頂くことを目的に開催いたします。なお、当日は取材記者の皆様で、ご希望の方にはエイズ無料検査も実施いたします。是非ご取材くださいますようお願い申し上げます。

■恐れ入りますが、取材のご都合を別紙にてFAXで11/24(木)までにお知らせください。

この件に関するお問合せ先

㈱ウイングダム 担当/沼澤 TEL.03-3664-3831 FAX.03-3664-3833 携帯 090-7241-4854



## ●当日(11月26日)のスケジュール

■ご取材受付/12:30より、六本木ヒルズアリーナ umu 前にて (港区六本木 6-9-1)

### 【 エイズ無料検査 】

①13:00~14:00/取材記者対象のエイズ検査 umuにて

取材記者の皆様のエイズ無料検査(エイズ検査体験)を受け付けます(先着12名まで)。

ご希望の方は別紙の取材申込書にご記入ください。※検査時に取材可能です。

②14:00~一般対象のエイズ検査 umuにて ※先着60名

\*1人約10分のカンゼリング後、少量の血液を採取します。検査結果は約60分後にもう一度検査会場までお越しいただき、被検者本人だけに直接お知らせします。

\*一般の方のエイズ検査の様様のご取材はお断りいたします。

### 【 トークショー&ライブ等 】

■時間 13:15~18:30

■会場 六本木ヒルズアリーナ(東京都港区六本木 6-9-1)

■内容 ①13:15~14:00/「大シルクロード音楽舞踏祭」出演の歌舞団による演奏

②14:00~14:05/主催者代表挨拶 厚生労働副大臣 赤松正雄

③14:05~14:50/トークショー

◎出席:佐藤江梨子、パンチ佐藤、岩室紳也(エイズ専門医)、  
HIV感染者・エイズ患者のネットワーク組織「JaNP+  
(ジャンププラス)」代表・長谷川博史

◎テーマ:エイズ・・・あなたは『関係ない』と思っていませんか?

③15:00~15:50/ライブ、パフォーマンス

④16:00~16:25/「世界エイズデー」ポスターコンクールの入選作表彰式

⑤16:30~17:20/トークショー(早稲田大学・qoon主催)

◎出席:ia(司会)、佐藤江梨子、Yoshi(作家)、岩室紳也、  
池上千寿子(ふれいす東京代表)

⑥17:30~18:30/ライブ、パフォーマンス

### 【 記者会見 】

■時間 15:00~15:45

■会場 テレビ朝日2階 プレゼンテーションルーム(六本木ヒルズ内)

■内容 ①趣旨説明/厚生労働省、(財)エイズ予防財団

②ゲスト・トーク/佐藤江梨子、パンチ佐藤

③質疑応答

④囲みインタビュー/佐藤江梨子、パンチ佐藤



FAXご送信先/03-3664-3833(榊ウインダム行き)

## レッドリボンキャンペーン 2005

「エイズ…あなたは『関係ない』と思いませんか？」

●11月26日(土)・六本木ヒルズアリーナ ●トークショー&ライブ(14:00)・記者会見(15:00)

取材する      取材しない

◆エイズ無料検査    希望する    希望しない

(いずれかに印をお付け下さい)

貴社名	
媒体・番組名	
ご担当者名	ご取材の場合の人数/総 人
TEL	
FAX	

お忙しい中、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。  
恐れ入りますが、11/24(木)までご返信くださいますようお願いいたします。

## 2 その他関連イベント等の実施

### (1) イベント等

#### ①街頭キャンペーン in 渋谷

- 開催日時：平成17年12月1日（木） 15:00～17:00
- 開催場所：渋谷駅ハチ公前広場
- 主催：渋谷区保健所
- 共催：財団法人エイズ予防財団
- 協力：日本家族計画協会 U-COM、国際医学生連盟、アデオジャパン（予定）
- 内容：エイズや性に関する意識調査のアンケートを実施しながら、エイズ予防の啓発物を配布する。

#### ②Act Against AIDS 2005～MUSIC PLAZA IN ORCHARD～

- 開催日時：平成17年12月1日(木) 18:30（開演）～
- 開催場所：Bunkamura オーチャードホール（渋谷）
- 主催：Bunkamura/TBS ラジオ
- 共催：財団法人エイズ予防財団
- 後援：Act Against AIDS 運営事務局
- 内容：森山良子さん はじめ、多彩なゲストが熱唱。幕間に森山さんがエイズについて語る。エイズ予防財団はブースを出し、募金活動も行う。
- 出演者：森山良子（ホステス）、南こうせつ（ホスト）、加藤登紀子、イルカほか

#### ③STOP HIV/AIDS エイズ予防啓発チャリティコンサート 2005

##### 「大シルクロード音楽舞踏祭」

- 主催：シルクロード音楽舞踏祭実行委員会
- 後援：財団法人エイズ予防財団、日本赤十字社、東京都など
- 内容：シルクロード、新疆ウイグル音楽の演奏や踊りによるチャリティコンサートと「世界のエイズ予防ポスター」などの展示
- 開催日時と場所：
  - 平成17年11月27日（日）LIVE in 護国寺（昼・夜）13:30・18:00(開演)
  - 29日（火）船橋市勤労市民センター 18:00(開演)
  - 30日（水）船橋市勤労市民センター（昼・夜）13:00・18:00(開演)
  - 12月1日（木）東京渋谷クラブ ON/OFF 18:00(開演予定)
  - 2日（金）立正大学 石橋湛山記念ホール 18:30(開演)
  - 3日（土）三宅坂ホール（千代田区）17:00(開演)
  - 5日（月）三宅坂ホール（千代田区）17:00(開演)
  - 8日（木）文京シビックホール（文京区共催）18:30(開演)
  - 9日（金）文京シビックホール（昼・夜）13:30・18:30(開演)

#### ④Before the Christmas We Should Think About Aids...

- 開催日時：平成17年12月1日（木） 18:00～23:00
- 開催場所：渋谷 VUENOS
- 主催：YDP-JN wAds2005 プロジェクトチーム、VUENOS
- 後援：財団法人エイズ予防財団
- 内容：ユース団体のネットワーク「YDP-JN」が取り組むwAds2005（World Aids Day Series2005）と渋谷を代表するクラブ「VUENOS」が若者層へエイズ予防のアピールを行うクラブイベント。エイズに関するクイズゲーム、ビデオメッセージの放映、コンドーム・小冊子の配布等。
- 出演者：MASAKI/GFS/DARK HORSE/トラビット/Missing Link/3crat ほか

#### ⑤平成17年度世界エイズデーシンポジウム

- 開催日時：平成17年11月29日（火）10:00～14:30
- 開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール
- 主催：文部科学省、財団法人日本学校保健会、財団法人日本性教育協会
- 後援：厚生労働省（予定）、財団法人エイズ予防財団
- 内容：エイズに関する正しい知識と理解の普及を図るとともに、エイズ教育の推進についての理解を促すために「今求められている、学校における性教育・エイズ教育とは～学校・保護者・地域の連携～」をテーマにシンポジウム等を開催

## (2) インターネット上における展開

### ①Yahoo! JAPAN「レッドリボンキャンペーン 2005」への協力

- 掲載期間 平成17年11月24日～平成17年12月27日
- 掲載内容 ・ライブトークの実施（11/26 19:00～19:30）  
出演：佐藤江梨子、岩室紳也  
テーマ：「佐藤江梨子といっしょにエイズについて考えよう」
  - ・HIV/エイズの基礎知識
  - ・HIV検査・相談窓口一覧
  - ・HIV・エイズに関する意識調査報告
  - ・レッドリボンキャンペーン関連イベント情報 等

### ②goo「レッドリボン特集2005」への協力

- 掲載期間 平成17年12月1日～平成17年12月27日
- 掲載内容 ・メッセージボード -レッドリボンキャンペーン2005ゲストメッセージ  
出演：佐藤江梨子・YOSHI
  - ・HIV/エイズの基礎知識
  - ・HIV検査機関、専門病院（エイズ治療拠点病院）
  - ・オリジナルコラム“専門家に聞く”  
(京都大学大学院助教授 木原雅子先生ほか)

・ HIV・エイズに関する20000人アンケート

レッドリボン特集2005にてインターネット上のオープンアンケート実施

(実施期間：2005年11月25日(金)～12月1日/対象：15歳以上の男女)

調査結果については、集計後gooレッドリボン特集2005にて発表予定

### (3) 社団法人公共広告機構のHIV検査促進ポスター掲示

今年度より、HIV抗体検査を促すキャンペーンが社団法人公共広告機構の全国支援キャンペーンとして採用され(<http://www.ad-c.or.jp/index.html>) すでに、7月から来年6月までの1年間、テレビやラジオでCMが流れるとともに、全国の新聞及び雑誌においても広告が掲載されているところです。

この度、これらに加え、世界エイズデーである12月1日前後より、以下の首都圏公共交通機関の車内や駅構内においてポスターが掲示されます。

対象：JR東日本、東武鉄道、西武鉄道、京成電鉄、京王電鉄、小田急電鉄、東京急行電鉄  
京浜急行電鉄、東京地下鉄、相模鉄道、都営地下鉄(11社)

期間：世界エイズデー(12/1)を含む1ヶ月間程度

### (4) 政府広報による新聞突き出し広告

読売新聞(11/28)、ブロック三紙(11/29)、産経新聞(11/30)、毎日新聞(12/1)

## 平成17年度「世界エイズデー」実施要綱

### 1 名 称

平成17年度「世界エイズデー」

### 2 趣 旨

WHOは、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱した。

1996年より、WHOに代わって、国連のエイズ対策の総合調整を行うこととなったUNAIDS（国連合同エイズ計画）もこの活動を継承しているところである。

我が国としてもUNAIDSが提唱する“World AIDS Day”に賛同し、その趣旨を踏まえ、12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進し、エイズまん延防止及び患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図る。

### 3 今年度の主題

エイズ…あなたは「関係ない」と思っていますか？

### 4 期 日

平成17年12月1日。ただし、地域の実情等に応じ、12月1日を中心とした前後の日でも差し支えないものとする。

### 5 主 唱

厚生労働省

### 6 実施方法

#### (1) 厚生労働省

関係行政機関、(財)エイズ予防財団、エイズ関連NGO（非政府組織）等の関係団体及び報道機関等の協力を得て、全国的な啓発活動の推進を図る。本年度は、12月1日（を中心とした前後の日）に記念事業を行うほか、年間を通じた普及啓発のためのキャンペーンを実施する。

#### (2) 都道府県、保健所を設置する市及び特別区

関係機関及び関係団体等との連携を密にし、それぞれの地域の実情に応じた広報計画、実施計画に基づき、次の事項も参考にしながらエイズに関する正しい知識の啓発活動を展開する。



- ①新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画等の協力を得た広報活動の実施
  - ②ポスター、パンフレット、リーフレット、ビデオ等の作成・配布等による啓発活動の実施
  - ③研修会、講習会、講演会、シンポジウム、街頭キャンペーン等の実施
  - ④学校、企業、地区組織等に対する呼びかけ及び協力
  - ⑤一般住民のみならず、相談窓口職員、医療従事者、教育関係者等への啓発
- なお、啓発活動を行うに当たっては、エイズに関する最新の情報を入手するとともに、平成11年12月28日付「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の運用について」（健医疾発第124号）や平成17年6月13日付「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針見直し検討会」報告書（<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/06/s0613-5.html>）を参考とすること。

## 7 普及啓発における留意点

### (1) 個別施策層に焦点をあてた普及啓発

平成11年10月に告示された「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」の趣旨を踏まえ、我が国に在住するすべての人々に対して、正しい知識の普及啓発の強化を図ること。特に、性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年、言語的障壁や文化的障壁のある外国人、性的指向の側面で配慮の必要な同性愛者及び性感染症としてのHIV対策を進める観点から性風俗産業の従事者並びに利用者への取組みを促進すること。

### (2) 人権の尊重

エイズは、HIV感染後も長い無症状期を社会の一員として生活を営む病気であり、周囲の人々の理解と支援が必要であること。従って、患者・感染者が尊厳をもって暮らせる社会づくりが必要であること。

HIVの感染力は弱く、しかも感染経路が限られているので、日常生活ではHIVに感染することはないこと。

特に医療現場における患者・感染者の受け入れを改善していくために、エイズに対する社会全体の意識の向上と、エイズ診療に取り組む医療関係者への支援を訴え、患者・感染者が安心して医療を受けられる環境づくりを進めること。

### (3) HIV治療の進歩と検査・早期治療の重要性

HIV治療の進歩に伴い、患者・感染者が長期間障害を持ちながらも療養できるようになったことから、平成10年4月から感染者は身体障害者の認定を受けられるようになったこと。また、身近な医療機関で適切な治療を受けられる体制がほぼ整いつつあること。

早期発見による適切な治療の効果がますます高まっていること、検査は医療機

関や最寄りの保健所等で受けることができること等の周知を図り、自発的に検査を受けやすい環境の整備に努めること。なお、厚生労働省においては、検査・相談の利用に係る情報につき、各種イベント等集客が多い機会を利用し、積極的に国民への周知を図るが、都道府県、保健所を設置する市及び特別区においても、地域の実情に応じて、積極的に情報の周知に努めること。

#### (4) 日本エイズストップ基金

(財)エイズ予防財団には、「日本エイズストップ基金」が設置されており、募金を通じてNGO等を支援しているため、その活動等について周知すること。

## 8 参考

平成16年度世界エイズデー関連行事実施状況報告より、地方自治体における特徴的・先駆的な世界エイズデー関連行事について別紙のとおりとりまとめたので、本年度の事業実施の参考にされたい。

## 9 その他

広報の実施にあたっては、患者・感染者等の人権や社会的背景に配慮するとともに、血友病患者やその家族に対する配慮が必要である。

## 地方自治体における主な特徴的・先駆的エイズデー関連行事について

～平成16年度世界エイズデー関連行事実施状況報告より抜粋～

### 参加型

- スポットテレビCMを募集するコンクールを実施し、コンクール最優秀賞作品を放送(岩手県)
- ラジオCMコピーコンテスト(群馬県)
- ポスターコンクール(愛知県他)※優秀賞はしおりにして市内中学校、高校・書店で配布する(大分市)
- マンガ&メッセージコンクール(静岡県)
- エイズアート展(仙台市)

### 協同型(NPOとの連携)

- 男性同性愛者向け予防啓発リーフレットの作成及び予防啓発講習会の実施(埼玉県)
- 男性同性愛者へHIV感染予防を呼びかけるためのバレーボール大会や講演会の実施(神奈川県)
- 生徒参加型のエイズ啓発研修会(ワークショップ)の実施(京都府)
- シンポジウムの実施(東京都他)

### 地域との連携

- ショップ啓発(クラブ&カフェ、ラブホテル等の協力のもと、ポスター、チラシ、 Condom 配布や店員に対するレッドリボン着用依頼)(福岡県・福岡市)
- ラブホテルにおける Condom やパンフレットの設置(大阪府他)
- 県内の全婦人科、泌尿器科医療機関へのパンフレット配布(熊本県)
- 地方テレビ局・FM局における特別番組の放映(熊本県他)
- 地元ショッピングセンターやドラッグストア等における出張相談や即日検査(秋田県)
- 市内小中学生が作成した壁新聞を市内大型スーパーで展示(豊橋市)
- 地元タウン誌にエイズ予防啓発記事の掲載(千葉県他)
- 書籍のブックカバーに保健所相談・検査窓口等について掲載して配布(徳島県)
- 大学の学園祭における啓発パンフレットの配布や抗体検査など(広島県他)

### 個別施策層対策

- 男性同性愛者のイベントとタイアップしてポスター掲示、チラシ、 Condom を配布(福岡県・福岡市)
- 男性同性愛者が主催するクラブイベントにおいて普及啓発ショーを実施(札幌市)
- ゲイ専門ホテル及びゲイ専門映画館の来館者に対する Condom 等の配布(広島市)
- すずきの情報誌へエイズ相談・検査に関する広告掲載(札幌市)
- 登校時間帯における生徒昇降口付近での街頭キャンペーン(山形県)
- 小学生・中学生・高校生をそれぞれ対象としたエイズ学習会及び講演会の実施(石川県他)
- 保健所と教育委員会主催によるシンポジウムの実施(佐賀県)
- 在日ブラジル人を対象とした講演会の実施(富山県)
- 母国語新聞における広報(東京都他)

### その他

- 県内の発生動向等の資料配付(埼玉県他)
- 県内の10代の性の現状についての講演会(徳島県)
- 全職員がレッドリボン着用(仙台市)
- 成人式における啓発イベント・出張検査の実施(大分市)
- 16年度におけるエイズデー関連行事としての休日夜間検査実施自治体 46自治体